

この春注目、4幕上演

今年は春の統一自治体選挙と7月の参議院選挙が重なる「選挙 Year」。明石も4月には市長・市議選と県会議員を選ぶトリプル選挙が行われます。また今年は、市民の「参画」と「協働」「情報の共有」を市政運営の原則と定めた自治基本条例が施行されてから10年目に入ります。

この春、明石は面白い。2月3日の節分の日から幕が開きます。さあ、見逃さずに、みんなでステージに上ろう。

第1幕

2月3日(日)

泉市政のマニフェスト検証大会

泉市政は2期8年を間もなく終えて、3期目をめざすことを表明しています。市民自治あかしは前回選挙の際に同市長が公開討論会で賛同し実現に努力すると表明した「市民マニフェスト」が、4年間の市政でどのように実現されたかを検証し市長と意見交換します。(裏面に詳細)

第2幕

3月24日(日)

市長選挙候補者の公開討論会

今春の市長選挙には、12月に現職の泉房穂市長が3選出馬を表明し、前市長の北口寛人県議も出馬を表明しています。2期市長を務めた北口氏はフェリーの存続をめぐる問題で市議会全員一致の問責決議を受けたことから3選を断念した経緯があり、前回選挙では泉氏を全面支援していた前市長が今回は現職と対決するという明石市政始まって以来の構図になりそうです。

第3幕

3月29~4月7日(日)

県議会議員選挙

県会明石選挙区の定数は4。北口氏が市長選へ転出すれば、現職は現在議長職にある松本隆弘氏(自民)と伊藤勝正氏(公明)の2名。たび重なる不祥事で辞職勧告を受けている樽谷彰人氏(無所属)の帰趨は不明。民主党元職の岸口実氏が維新公認に転じて出馬し、市議3期の中西礼皇氏が立憲民主公認で転身する。共産は新人の福原ゆかり氏を公認し、5党が激突する混戦模様。

第4幕

4月14~21日(日)

市長・市議ダブル選挙

県議選から1週間おいて、締めくくりは市長・市議のダブル選挙。

16年前の市長選は、花火大会事件の市政刷新が大きく問われて新人4人の争いのうへ北口氏が制した。8年前は現職の3選断念のあと無所属市民派を名乗る泉氏が、県知事の全面支援を受けた前県民局長を69票差で破る接戦が演じられた。

4年前は自民党県議と無所属女性を交えた三つ巴選を制して、泉氏が有効投票の半数近い5万1000票を得て再選した。さて今回は、どのような展開になるか?

いま明石が面白い

泉市政の4年を検証 市民マニフェストは活かされたか？

2月3日（日）市長を招き「検証大会」開催

日時 2019年2月3日（日） 午後2時～4時

会場 明石市立勤労福祉会館 2階 多目的ホール

泉房穂・明石市長が出席し、市民側がまとめたマニフェスト検証結果について意見交換します。検証結果についてまとめた冊子を、参加者にも配布します。

※資料代 500 円。事前申し込み不要。どなたでも参加できます。当日会場にお越しください。

「市民マニフェスト」は2011年4月の市長選挙に際して、前年2010年4月に施行された明石市自治基本条例に基づき「明石市はこれから何を、どのように進めていくのか」を市民自らが考え、明石のまちの都市像をイメージしながら、市政のありようを市民自らの手で市長候補と職員ならびに議員、そして市民に具体的に提示したものでした。

右の写真は、前回2014年11月16日の市民マニフェスト検証大会で答える泉房穂市長



市民マニフェストは 市民がつくる市民の政策

市民マニフェストには、以下の3つの目的があります。

- 第1は、明石市が置かれている厳しい市政の課題に対して、主権者である市民自らが政策を考え提起する、自治基本条例に基づく市民の責任を果たすための、市民が政策を考える市民自治の実践です。
- 第2は、市政と議会の改革を進めていくことを行政まかせにせず、市民参画の機会を大事にする。
- 第3は、住民自治をめざす自治体では、市民が選挙に一層主体的に関わる必要があります。候補者を選ぶ基準を、市民自らが掲げて候補者に選択を迫ることから、市民自治の社会が始まります。

35項目の政策を提言した2015年版「市民マニフェスト」

2015年版「市民マニフェスト」は、「自治・参画の基本にかかわる姿勢」について①市民力の向上を図る仕組み ②行政運営の原則と組織改革 ③情報の共有に関する14の項目と、個別具体的な政策に関わる21の項目、計35項目の政策を挙げています。個別具体的な政策については①福祉のまちづくり ②教育と文化のまちづくり ③明石らしい生活産業都市づくり—についてそれぞれ具体的な政策を提示し、都市政策から産業政策、財政再建、自然環境などの具体的な方

向性を示した政策を挙げています。

これらについては、項目ごとに評価の理由を明記したうえで、市民の目から見た「評価点」を5点満点で評価しています。

検証大会の当日は、大きく4つの政策に絞り市民から質問し、評価をめぐって意見交換します。

市長には市民マニフェストに対する「自己検証結果」も提示するとともに、選挙時に市長が掲げた重点施策についての進捗評価も説明していただくよう、要請しています。